キャラクター名
ミー・ヴィア&アイ・ヴィア／有我 愛未（ありが まなみ）

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ キュマイラ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	小学生
オプショナル		年齢	外見10歳前後	性別	女？
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	36 %
出自	地球外生命体	経験	組織への所属	邂逅	師匠（天乃　創一朗）

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	6	1	1			8
感覚	0	0	1			1
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	37
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊令（オーダー）	白兵	10r+4	1	19		完全獣化+破壊の爪後、コンセ+獣の力/判定ダイス-1/侵蝕4（+9）
@100-	白兵	14r+4	1	22		ダイス+3/エフェクトLv+1
虚空より出でし者（キメラ）	白兵	11r+4	1	21		+獣魔の巣/侵蝕8/1シナリオ3回
@100-	白兵	15r+4	1	26		ダイス+3/エフェクトLv+1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品	
コネ：要人への貸し	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：変異種（キュマイラ）	P	N		
Sロイス：友人	P 懐旧	N 無関心		
シナリオロイス：露花サナエ（昇華）	P 信頼	N 隔意		
天乃　創一朗	P 感服	N 隔意		
久木 官	P 友情	N 無関心		
立木カエデ	P 親近感	N 憐憫		
星トウマ	P 好奇心	N 隔意		

最大財産P: 4	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	-	RB	
効果：	衝動判定のダイス+Lv個/侵蝕率基本値+5							
オリジン:レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	-	RB	
効果：	シーン中、【精神】を使用した判定の達成値+[Lv*2]							
コンセントレイト:キュマイラ	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	C値-Lv（下限値7）							
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	シーン中、【肉体】を使用した判定ダイス+[Lv+2]個/エフェクト効果持続中、素手以外のアイテムの装備・使用不可							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	シーン中、　種別:白兵/技能:<白兵>/命中:0/攻撃力:+[Lv+8]/G値:1/射程:至近　に素手のデータを変更							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	戦闘移動を行う/離脱を行える/移動中に他エンゲージに接触しても移動を終える必要はなく、封鎖の影響も受けない/1シーンLv回							
獣の力	5	2	メジャー	武器	単体	白兵	-	
効果：	攻撃力+[Lv*2]							
獣魔の巣	1	4	メジャー	-	-	白兵	Dロイス	
効果：	攻撃力+[Lv*2]/攻撃に対するドッジのC値+1/1シナリオ3回							
フルパワーアタック	3	4	セットアップ	至近	自身	白兵	80%	
効果：	ラウンド中、自分の攻撃の攻撃力+[Lv*5]/ラウンド中の行動値は0になる							
眠れる遺伝子	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果	:あなたの内側に眠っている獣の遺伝子を覚醒させることで、常に動物の姿で日常を過ごすエフェクト/見抜く場合は<知覚>判定で対決							
効果：								
効果：								
効果：								

「あたしはアイとふたりでひとりなの。分かれるなんてかんがえられないヨ♪」
「我等は二つで一つの存在。疑う余地など一片もない」

少女「ミー・ヴィア」は非常に能天気で、あまり深くは考えず、いつでも上機嫌。
それは敵を前にしても変わらず、どこか異質なものを感じさせる。
六つ目の竜「アイ・ヴィア」は思考することを好み、冷静にして冷酷。
敵対する者を容赦なく引き裂くが、それは有機的な感情によるものではない。

【概要】
「あたしたちはね、うちゅーから来たの。アイがそう言ってた」
「我等はあの空の向こう――黒き宙から流星となり、地球に降り立ったのだ。あれから幾何の時が過ぎただろうか」

自称「宇宙から来た」という、奇妙なレネゲイドビーイング。
その生態は実に奇妙で、少女の姿をした独立型のレネゲイドビーイング「ミー・ヴィア」に、
六つ目の竜のような姿をした協力型のレネゲイドビーイング「アイ・ヴィア」が寄生している…と本人たちは言っている。
ただし、「ミー」の姿で「アイ」が喋ることもあれば、「アイ」の姿で「ミー」が喋ることも多く、境界線は曖昧である。
二人が本当に別個体なのかどうかは疑わしい。
少なくとも、片方だけが動いているように見えても、見聞きしたものを全て共有していることは確かのようだ。
どうやら、彼女らは人々が思い描くという「キメラ」（キュマイラではない）を起源としているらしいが…

【経緯】
「ＵＧＮはねー、いいところだったよー。ぬけてきた理由はー……なんだっけ？」